

農業環境技術研究所・標本シリーズ6：堀川正美コレクション（カミキリムシ類）

NIAES Collection Series 6: Masami Horikawa Collection (Disteniidae and Cerambycidae)

栗原 隆*・吉武 啓*・吉松慎一*

Takashi Kurihara, Hiraku Yoshitake and Shin-ichi Yoshimatsu

1. はじめに

2009年11月、アマチュアの甲虫研究者である神奈川県横浜市在住の堀川正美氏によって、大変貴重なカミキリムシ類の標本が農業環境技術研究所（以下、農環研）昆虫標本館に寄贈された。本誌第7号で示されているとおり、昆虫標本館にはおよそ28,000点のカミキリムシ類標本が保管されている（吉武ほか、2008）。本稿では、新たに追加された堀川氏のカミキリムシ類コレクションの概要を紹介するとともに、当館における当コレクションの管理と利活用について触れたい。

2. コレクションの概要

日本産カミキリムシ類は、ホソカミキリムシ科とカミキリムシ科の2科から成るが、前者はわずか3種しか分布していないため、しばしばまとめて報告される。そのため、本稿でも便宜上、カミキリムシ類としてこの2科を扱うこととする。

堀川正美氏のカミキリムシ類コレクションには、281種3,302点（点数は針数でカウント、3,610個体、うち2点2個体は外国産）が含まれている。その大半が堀川正美・麗子ご夫妻により日本国内で採集されたもので、とくに本州の中部以東で得られた標本がたいへん充実している。その中には、事前に堀川氏が標本の大部分を専門家に提供されたヒメハナカミキリ属およびヤツボシハナカミキリがほとんど含まれていない。しかし、ヒメハナカミキリ属を除く本州産カミキリムシ類（約360種）に限ってみると、堀川コレクションはその約75%をカバーしていることになる。また、堀川氏ご自身が作製された標本はそのすべてが綺麗に整形されているだけでなく、詳細なデータラベルも付けられており、非常に良質な学術研究用昆虫標本である。

農林害虫（日本応用動物昆虫学会編、2006）の同定参照標本としては、ウスバカミキリやマルクビケマダラカミキリ、スギカミキリ（図1）、ヒメスギカミキリ、ピロウドカミキリ類、マツノマダラカミキリ、ラミーカミキリ（図2）、キクスイカミキリ、リンゴカミキリ類、ルリカミキリなど数多くの種が含まれている。その他に、スミイロハナカミキリ



図1 スギカミキリ

*農業環境インベントリーセンター

Natural Resources Inventory Center

インベントリー, 第8号, p48-49 (2010)

（図3左）のような希少種やキクスイモドキカミキリ類のような必ずしもまだ分類学的に解決していないグループも少なからず含まれている。

3. 今後の標本管理と利活用について

標本は、同定する際の参照資料や研究材料として簡単に利活用できるように整理し、保管する必要がある。我々は、堀川氏より寄贈されたカミキリムシ類の全標本を最新の分類体系（大林・新里、2007）に従って再配列し、同定ラベルおよびコレクションラベル、標本番号ラベル



図2 ラミーカミキリ



図3 スミイロハナカミキリ(左)とそのラベル(右)



（24-0470000~24-0473301）（図3右）

を付した上で、分類群情報やラベル情報をデータベース化した。データベース化の完了した標本は“堀川コレクション”として、他の標本コレクションと明確に区別する形でまとめて保管されているだけでなく、分類群ごとに箱分けされ、さらに種ごとにユニットボックスに分けて収納されているため（図4）、目的の標本を簡単に引き出せる状態になっている。なお、堀川コレクションの利活用を促進するため、今後、農環研のオンライン昆虫インベントリーシステム上でその全標本情報を公開する予定である。

4. 謝辞

堀川正美氏には貴重な標本を寄贈していただいただけでなく、標本情報のデータベース化に際して種々ご教示いただいた。また、堀川麗子氏には標本受け渡し時に大変お世話になった。この場を借りて心より御礼申し上げる。

引用文献

- 1) 日本応用動物昆虫学会編（2006）農林有害動物・昆虫名鑑。増補改訂版，387 pp.，日本応用動物昆虫学会，東京。
- 2) 大林延夫・新里達也（2007）日本のカミキリムシ，818 pp.，東海大学出版会，東京。
- 3) 高桑正敏（1998）月刊むし・ブック 2：ベニボシカミキリの世界，232 pp.，月刊むし，東京。
- 4) 吉武 啓・中谷至伸・吉松慎一（2008）農業環境技術研究所・標本シリーズ4：コウチュウ目インベントリー，(7): 20-23.



図4 整理後の標本の様子

問い合わせ先

農業環境インベントリーセンター 吉武 啓

電話：029-838-8348， E-mail：zoumushi@niaes.affrc.go.jp